

目次

はじめに	1
第1章 イランの成り立ち	2
第1節 イランの概要	
第2節 民族運動と近代化	
第3節 立憲から大戦下の混乱	
第2章 近代化政策と革命への道	8
第1節 石油国有化への挑戦	
第2節 白色革命の功罪	
第3節 イラン革命がもたらすイスラームの変容	
第3章 紛争と政治的イデオロギー	13
第1節 イスラーム体制の樹立と内外の試練	
第2節 イラクの思惑と泥沼の戦争	
第3節 戦争の長期化と「毒杯」	
第4章 激動する国際情勢と国内の変容	17
第1節 核開発疑惑の浮上と対米関係の激化	
第2節 マフサ・アミニ事件と宗教的問題	
第3節 核がもたらす代理から直接戦闘	
終章 今後の展望	23